

会田桃子 violin 藤本一馬 guitar

※マスクの着用を必ずお願いいたします。

※ご入場の際、備え付け、又はご持参の消毒液にて手を消毒して下さい。

2022 **01月15日(土)**

開場 13:00 afternoon live

開演 13:30

(2ステージ入替無)(1drink=600円~)

MC=3300円 +2drinks order

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



会田桃子

3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋学園大学音楽学部卒業。日本を代表するアルゼンチンタンゴ奏者の一人で、ジャズ、ポップス、など幅広い音楽シーンでもソロバイオリニストとして活躍中。また歌手、作編曲家としても活動しており、アーティストへの楽曲提供も多数している。自身のバンドで毎年恒例となっている韓国ソウルでの2000人規模の大ホール公演は、毎年Sold Outの人気を誇る。2017年アルゼンチン大統領来日歓迎晩餐会に日亜文化交流に貢献した功績を認められ招待された。2019年1月ミュージカル「Great Comet of 1812」にミュージシャンキャストとして出演。2020年8月女優渡辺えり主催「女々しきカプロジェクト序章」3作品の劇中音楽、劇中歌の作曲及び演奏を担当した。



藤本一馬

ギタリスト、コンポーザー。1998年ヴォーカルのナガシマトモコとのデュオ、orange pekoeを結成。2002年1st作「Organic Plastic Music」で幅広い支持を獲得。その後も国内はもとよりアジア各国や北米でも活動を展開。2011年ソロ名義での1stアルバム「SUN DANCE」をリリースし、雄大な自然からの着想、自己の内面を投影した叙情的なオリジナル楽曲もとに、アコースティックな響きと空間的余韻を内包したインストゥメンタル音楽を展開。ジャズやクラシック音楽だけでなくワールドミュージックリスナーなど幅広い支持を得る。その後もカルロス・アギーレ(pf)やアンドレ・メマーリ(pf)、シルビア・イリオンド(vo)等をフィーチャーしたソロ名義作「Dialogues」、「My Native Land」、「FLOW」、また伊藤志宏(pf)とのデュオ作「Wavenir」を発表。2019年、予てから活動を展開していた林正樹(pf)、西嶋徹(cb)とのFLOWトリオに福盛進也(dr)が参加し、藤本一馬カルテットを始動。フォークロリックな感性と室内楽の持つ静謐さ湛えたコンテンポラリー・ジャズへ昇華。その他、これまで国内および海外まで多数のアーティストと共演。旋律的でリカルなアプローチ、ときに野生的なダイナミズムまで、その音楽性は高い評価を獲得している。